



— 節分祭・豆まき —

阿蘇神社 <http://asojinja.jp>



報社 あそみや

令和 7 年 3 月 15 日
第 92 号

発行所
阿蘇神社社務所
多良見町化屋 862
☎ 0957-43-5235

まほろば

阿蘇神社

宮司 大島 大明

やまと くに まほろば
倭は 国の真秀ろば

たなか あおかき
畳づく青垣

やまこも うるわ
山籠れる 倭し麗し

やまとたけるのみこと
《倭 建 命》

神社関係者の研修会や講演会に参加すると「まほろば」という言葉が頻繁に使われます。漢字で「真秀場」と書くこともありませんが、一般的には仮名書きのようです。

古語の「まほら」と同じ意味で、「素晴らしい場所」「住みよい場所」と解釈されています。当初は大和(奈良県)の国を指していたようですが、近年では日本を美しい国、そしてそこに住む人々の美しい心を讃える言葉として使われています。倭建命が故郷を偲んで詠んだ歌

といわれますが、自然豊かな「まほろば」であったものと思います。近年では風光明媚な景観も太陽光パネルが敷き詰められ、無残な場所が多いとのこと、それでも素晴らしい、住みよい日本であってほしいと願っています。

敬神生活の綱領

神道は天地悠久の大道であって、崇高なる精神を培い、大平を開くの基である。

神慮を畏み祖訓をつぎ、いよいよ道の精華を發揮し、人類の福祉を増進するは、使命を達成する所以である。

ここにこの綱領をにかけて向ふところを明らかにし、実践につとめて以て大道を宣揚することを期する。

一、神の恵みと祖先の恩とに感謝し、

一、世のため人のために奉仕し、
神のみこともちとして世をつくり固め成すこと

一、大御心をいただきてむつび和らぎ、

国の降昌と世界の共存共栄とを祈ること

迎春 令和七年節分祭 終了!!

阿蘇神社恒例の節分祭が、去る二月二日に実施されました。

多良見町商工会が「町おこし」として始めた豆撒きも今年で四十二回目、今年は二十四名の年男・年女が参加して行われました。

奉仕者は、袴姿でお祓いを受けて身を清め、一年間の開運招福を祈念して殿内で「豆打ちの儀」を行いました。その後境内の仮設舞台に移動して「福は内」の声に合わせて豆撒きを行いました。



— 豆打ち行事 —

火焼神事は旧年中の御神札・御守・家庭の神棚、熊手や破魔矢など神社ゆかりの品々をお焚き上げする神事です。

境内に忌竹を立て注連縄を張り祭場を設えます。氏子崇敬者より納められた御神札・御守など前祭事を行い、終了後に北島総代会長が火をつけました。

参拝者は燃え盛る炎に手を合わせ、旧年中の感謝と新たな年の無病息災を祈っていました。



— 餅まき —



— 火焼行事 —

節分行事の最後は、総代会による餅まきです。総代全員が舞台上がり、まず北島総代会長がお礼の挨拶をしました。その後総代全員で、一年間の開運招福の願いを込めて餅まきを行いました。

境内には商工会の青年部・女性部の出店も並び盛況でした。

今年の節分は好天候に恵まれ、阿蘇神社の境内は、福を求める多くの人で遅くまで賑わいました。

◎節分祭には多くの商店商社より福豆景品及び特別協賛金、また初穂料・献菓を賜りました。御芳名を記し御礼を申し上げます。

《順不同・敬称略》

- ◇初穂料 川原陽介
- ◇献菓 白岩豆店
- ◇豆撒行事景品提供
 - (有)徳永自動車、(株)十八親和銀行
 - 多良見町支店、(株)タナカ自動車、
 - 喜々津ステーションホテル、(株)ナカムラ、(有)もろおか薬品、エスジーエス(株)、(有)みのる、カッソハウ
 - ス我路、ミゲル商事、寺尾電器、
 - (株)あづま屋、蓮創アルミ、ピザクルサ多良見店、(有)マツショウ、(有)モールアム、(株)森開発、(株)森住宅、
 - (株)針尾商事、十善酒店、西原電気商会、居酒屋 Yanyan、事務機のミヤジマ、長崎産機サービス、
 - たちばな信用金庫 多良見支店、エディオン喜々津店、おしゃれの店 花椿、(株)マツモト、創作
 - 厨房たこまる、HANAWA工務店(株)
 - (有)山崎設備、高屋設備、(有)後田塗料商事、総合アルミ、(有)喜々津新聞販売センター、(株)ききつ青果、
 - (有)峰石油店、おむすびころりん、はんセンター尚美堂、(有)みづほ、
 - (株)溝上建築、山中鉾金、大杉車輛
 - (株)虹の設備、(有)あじさい、(有)長崎
 - エアースービス、お茶のたらみ園

- (有)森商会、(有)三伸電機、(株)カステラ本家福砂屋多良見工場、(有)ピーシーラーニングシステム、(株)多良見住宅、RandR coffee 見住宅、Iabo、(有)丸創建材店、(有)クラウンドライ、フラワーショップ花華、(株)アサヒ、(有)南部建設工業、青果のもろおか、木村装束店(京都)、阿蘇神社
- (株)溝上建築 (有)後田塗料商事
- (株)雄苑 島手そうめん販売(株)
- 西部ガスエネルギー(株)長崎支店
- 共栄機械工事(株)九州支店
- (株)アサヒ (有)南部建設工業
- (有)喜々津新聞販売センター
- 森 義憲 ききつ美容室
- 松屋眼科医院 竹迫整形病院
- 中村医院 たか動物病院
- (有)多良見砕石 レッカーセンター二根
- (株)唐草 (有)菅原産業
- (有)森 商会 大杉車輛
- デリカフーズ長崎(株) (株)あづま屋
- (有)やまぐち住建 山崎活魚店
- (株)ききつ青果 徳永建設(株)
- マエダ住宅(株) 大久保クリニック
- 喜々津カントリー倶楽部
- イヌオ胃腸科外科医院
- アルファ印刷 (有)吉野企画建設
- まずだ小児科内科医院
- (株)多良見住宅 総合アルミ
- 以上

◇節分祭特別協賛金

- 山崎 明 関山妙子(長崎市)
- 西平 隆 (有)ナカムラ工芸社
- 千葉敏子 西原電気商会
- (有)徳永自動車 (有)もろおか薬品
- (株)カステラ本家福砂屋多良見工場
- (株)石橋工業 慈恵病院
- (株)森 開発 (株)森 住宅
- (株)ティーエム 黒木建設(株)
- ヤマエ久野(株)長崎支店
- 大石ボデイ (株)小島工作所
- アポロカーズ (株)吉川金属商事

◎祝祭日には国旗を掲げてお祝いいたしましょう

◎氏神さまとお伊勢さんの御神札を祀りましょう

皇紀二六八五年乙巳 令和七年の紀元祭を斎行!

二月十一日は神武天皇が奈良橿原の宮に即位された記念日で、今年には皇紀二六八五年になります。

祭典では、先ず宮司が先人の建国の苦勞を偲び、皇室の弥栄と氏子崇敬者の幸を祈念する祝詞を奏上しました。次に喜々津三曲会の会員五名により尺八の奉納演奏が行われました。

奉納曲「越天楽」「八千代」の演奏後、尺八の伴奏で「紀元節の歌」を参列者全員で斉唱しました。



一 尺八の奉奏 一

紀元祭に際し左記のとおり初穂料・奉献酒を賜りました。ご芳名を記しお礼を申し上げます。

《敬称略》

◇奉献酒◇

長崎県神社総代会西彼支部長 江崎照弘、たちばな信用金庫多良見支店長 下田啓一朗

◇初穂料◇

喜々津三曲会、JA長崎せいひん理事 谷口謙太郎、西平 隆、(有)森 商会 森 誠司、JA長崎せいひん喜々津支店長 黒川政利、(株)溝上建築 溝上元規、(株)森 開発 針尾憲一、北島守幸、松尾祥吉、松尾博一、大杉信治、清水光一、山内和博、川口 勉、山下彦幸、川原陽介、木下 聡、石丸昌則、森 英敏、原口博道、嶋田正幸、中路英憲、石丸俊也、川崎 剛、北島勝幸、石場弘之、福田泰昭、溝上泰治、高嶋正則、松山 司、西原三千男 以上

令和七年「歌会始」御題「夢」

御製

旅先に 出会ひし子らは 語りたる 目見輝かせ 未来の夢を

皇后陛下御歌

三十年へて 君と訪ひたる 英国の 学び舎に思ふ かの日々の夢

皇室の新春恒例行事「宮中歌会始」の御儀が一月二十二日、皇居・正殿「松の間」で厳かに執りおこなわれました。

今年是全国と海外から合わせて一六、二五〇首が寄せられたとのことです。

「歌会始」は皇室と国民を繋ぐ皇室行事です。参加をしてみませんか。

来年の歌会始詠進要項(要約)

一、お題「明」

令和八年の歌会始のお題は「明」。歌に「明」の文字が詠み込まれていればよく「鮮明」「文明」「明星」のような熟語にしても、「明るい」のように訓読してもよい。

二、詠進要領

①お題を詠み込んだ自作の短歌で一人一首、未発表のもの。

②書式は、半紙(習字用半紙)を横長に用い、右半分にお題と短歌、左半分に郵便番号、住所、電話番号、氏名(本名、振り仮名を付す)、生年月日及び職業(具体的に)を縦書きで明記。無職の場合は「無職」でも良いが、以前に職業に就いた事がある場合は、なるべく元の職業を記載して下さい。

③毛筆で自書することが出来ない場合は、代筆でも可ですが、代筆の理由及び代筆者の住所・氏名を別紙に書いて詠進歌に添付のこと。

三、注意事項

次の場合は失格となります。

①お題を詠み込んでいない、短歌の定型でない、用紙が縦長の場合。
②一人で二首以上詠進した場合、毛筆でない場合。
③すでにに発表された短歌と同一、または著しく類似する場合。
④詠進歌を歌会始の行われる以前に、新聞、雑誌その他の出版物・年賀状等で発表した場合。
⑤その他詠進要領に依らない場合。

四、詠進のあて先と期間

「〒一〇〇—八一—一 宮内庁」宛とし、封筒に「詠進歌」と書き添える。詠進歌は小さく折って封入して差し支えない。九月三十日の消印まで有効。

◆奉納御礼◆

年末年始に以下の通り奉納を賜りました。御礼を申し上げます。

一、鏡餅一重 中村 医院 殿

一、奉献酒 中村 淳 殿

一、注連縄料 千葉 敏子 殿

一、初穂料 石丸 清 殿

徳永建設(株) 徳永 孝次 殿

大久保 洋 殿

松尾興一 殿

橋浦 和久 殿

◆編集後記◆

昨年は御鎮座四九〇年、神社本庁より献幣使が参向、十年毎の式年大祭を斎行した▼着任後の四六〇年式年大祭から、四度の式年大祭を宮司として奉仕することができたことに感謝しています▼健康に留意し、御鎮座五〇〇年の大祭も奉仕したいと思えます▼今年も早市長・市議選の年。選出された市長・議員各位には、諫早市の更なる発展のため、大いに汗を流していただきたい▼四月は進学や就職の季節、新しい出会いを大切にしながら夢に向かって進んでいただきたいものです▼「夢なき者に成功なし」という言葉もあります。悔いの残らない一年でありますように祈念します。